

今年の夏は海外旅行が人気——。円高や原油安による燃油特別付加運賃（サーチャージ）ゼロを追い風に、旅行大手の夏休み海外旅行の予約受け付けが好調だ。JTBは10%、日本旅行は43%、昨年を上回っている。行き先はハワイやアジアが多い。節約志向や国際情勢不安などを映し、欧州旅行は苦戦している。

夏休み旅行 今年は海外

大手の予約2桁増 円高追い風

JTBが受け付けた直イだった。

近の状況によると、主力の海外旅行商品「ルック」は8月の予約人数が昨年比1割増えている。オセアニアや米国、アジアが好調だ。阪急交通社も同じ傾向で、エイチ・アイ・エスでは家族旅行で1番人気となったのがハワイ

旅行予約は昨年より4割強多い。安近短の志向が強い。台湾や香港などが強く、ANAセールスも、今夏に海外へ旅行に出かける人は4年ぶりにプラスとなる見通し。英（東京・新宿）も客足は鈍い。

国内旅行の予約は、熊本の震災の影響が出ていない。JTBでは主力の国内旅行商品「エース」が3%減少、日本旅行は10%落ち込んでいる。ただ、巻き返し策も始まっており、ジャルパックは割安の独自キャンペーンを実施。九州旅行で3%増を確保している。旅行大手は、国の助成を活用して値段を抑えた九州旅行商品を順次、発売していく計画だ。

ロになることが予約好調の背景にある。

一方、欧州旅行の予約は低調だ。ジャルパックでは「パリ同時テロの影響から、徐々に回復してきている」というものの、11%減少している。近畿（東京・新宿）も客足は鈍い。